

# Universal Declaration of Human Rights

世界人権宣言 70 周年記念企画・不戦の集い協賛企画

## 世界人権宣言を捉えなおす

70 年前の 12 月 10 日に国連総会で採択された世界人権宣言は、誰もがよく知っている世界的な宣言で、多くの重要な政治的・法的文書や、最近では企業の活動方針などにも明示的に取り込まれているものです。ところが昨今の世界的な政治状況は、その宣言が目指しているものとは反対の方に向かっている危機感を感じさせます。70 周年を迎えた世界人権宣言を、もう一度捉えなおし、私たちにとってこの宣言がどういう意味を持つものかを、立命館大学の国際人権法の専門家 3 人が熱く語ります。



立命館大学法務研究科教授  
薬師寺 公夫  
国際法学



立命館大学法学部教授  
法学部部長  
徳川 信治  
国際法学



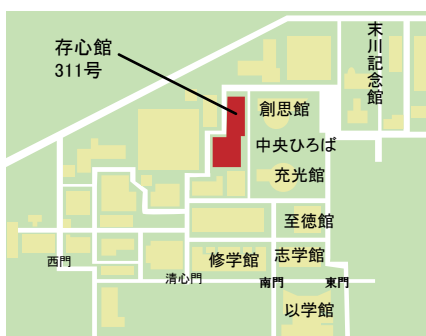
立命館大学衣笠総合研究機構教授  
立命館大学国際平和ミュージアム館長  
吾郷 眞一  
国際法、国際労働法

日 時：2018 年 12 月 14 日（金）18 時～19 時

場 所：立命館大学衣笠キャンパス・存心館 311 号室

※参加無料・申し込み不要

※他大学の方、一般の方もぜひお越しください



駐車場はございませんので公共の交通機関を御利用ください  
立命館大学までのアクセスはこちらをご覧ください  
<http://www.ritsumeikan.ac.jp/accessmap/kinugasa/>



立命館大学  
国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
TEL 075-465-8151

主 催：立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター